

# 心豊かな世代が育つ

## 童話の里づくり 394

### ―シリーズ― あなたの人権・わたしの人権

「人と関わる力」

北山田小学校五年

石井 愛那

わたしたち五年生は、四月から『学び合い』という方法で、少しずつ勉強をしています。

これは「みんなができる・みんなができる」ことを目標に、クラスみんなで考え、課題を解決していくものです。そのためには、いろいろな友だちと関わっていく力をつけなければなりません。

そこで、わたしたちは一学期から自分たちのクラスだけではなく、他の学年と交流をすることで、この力を養ってきました。

まず、一年生と交流することになりました。

一年生には、グループで本の読み聞かせをするのにしました。三人グ

ループを作るところから本選び・読み聞かせまで、すべて自分たちで行いました。

めあて決めでは、わたしたちのグループは「聞く人も読む人も楽しくできるようにする」としました。

そのために、私たちが選んだ本は、一年生の時に面白くて何度も読んだ「あかにんじゃ」という本です。

早速本を借り、練習を始めました。グループでいろいろな話しながら、たくさん工夫をしました。

また、本の持ち方やページのめくり方などは、図書先生にアドバイスをもらいました。

休み時間など時間を見つけては何度も練習をして、悪いところが良いところに変わっていったと思います。

いよいよ本番。練習のかがいがあった、最初は少しまってしまったりもあつたけれど、グループの友だちが助けてくれたので、無事に終わることが

できました。

最後の感想発表では、一年生が「あかにんじゃ」がおもしろかったです。」

と、言ってくれたので、「この本を選んでよかった。たくさん練習してよかったな。」と改めて思いました。

半年間で、全学年と交流学習ができました。

その中で私は、交流は相手も自分もよくする大切なものだと感じています。どの学年の交流でも内容は違いますが、相手はとても喜んでくれました。

私も「やってよかった」という達成感や自信もつけることができました。ほかに「どうしたら、喜んでくれるか。できるようにするか。」等、相手の立場に立って考える機会も増えました。

また、友だちとの助け合いも大事な一つだと思います。

交流時、困った時には、クラスの友だちが助けてくれました。これまで「友だちに教えてもらうことは、はずかしい。」と思っていました。しかし、この『学び合い』を始めて、困っている時に助けてもらう方ができるようにもわかるようになるので、うれしさの

方が強く感じるようになりました。

『学び合い』は、みんなの助け合いがあつてこそ成功すると思います。

これからもいろいろな学年と楽しく交流しながら、多くの人と関わる力を高めていきたいです。

「みんなができる・みんなができる」ともすてきな目標ですね。

学び合い、助け合うクラスの様子がよくわかります。

この人権作文について、意見や感想、激励など、お寄せください。

また、みなさんの投稿もお待ちしております。

わたしたちをとりまく様々な不合理や差別性について気づいたことや感じたことを一、二〇〇字程度にまとめて、住所、氏名、連絡先電話番号を記入して（匿名可）、玖珠町教育委員会社会教育課「あなたの人権・わたしの人権」までお届けください。

